

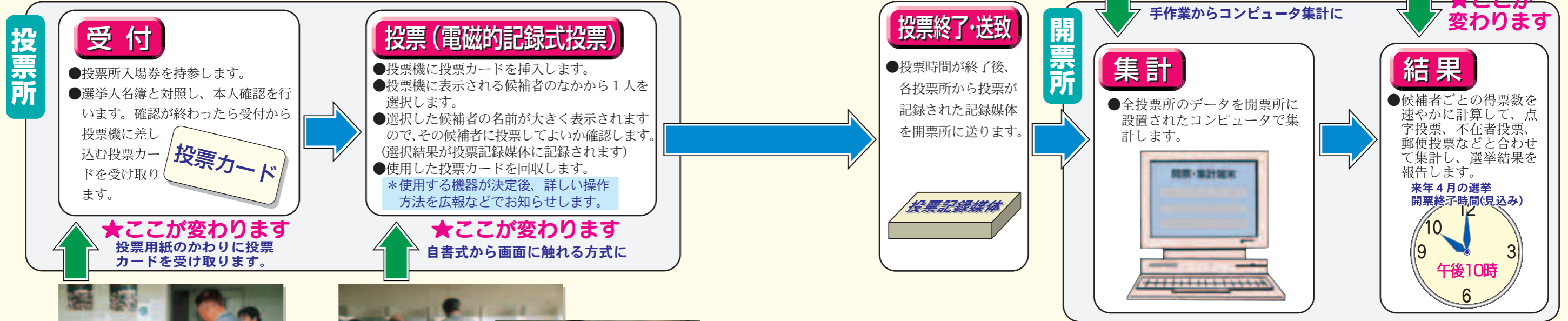
より簡単・確実・迅速なシステムです

電子投票制度の流れ

▼従来の開票（手作業による集計）



前回の市議会議員選挙
開票終了時間



▲従来の受付（投票用紙交付）



▲従来の投票▶

投票実施までのスケジュール(予定)

9月	条例・機器購入予算可決
10月	学識経験者や市民の皆さんで構成する「機種選定委員会」で機種を検討
11月	入札・契約
12月～1月	投票機納入
3月末まで	各種啓発・講習実施
4月	市議会議員選挙実施

*今後、使用する機器や納入日程が決定した後に、詳しい操作方法と体験会の日程を広報などを通じてお知らせします。

電子投票に関するお問い合わせ
市選挙管理委員会
☎22-1315

電子投票体験の場を設けます

多くの皆さんが電子投票に慣れていただけるよう、模擬体験の場を設けます。ぜひ一度、実際に電子投票を体験してみましょう！

■各公民館での模擬投票出張体験会の開催

今後、実際に使用する電子投票機が納入され次第、啓発用として投票機を各公民館などに設置する予定です。公民館での行事などの際に、ぜひ体験ください。また、会合などの際に、投票機を持ち込んで模擬投票してもらう出張体験会なども実施します。

■農業祭に体験コーナー設置

11月2・3日にホワイトキョーブで開催される「白石市農業祭」に、実際に電子投票が体験できる「電子投票体験コーナー」を設けます。（10頁参照）電子投票機を開発している5社の投票機がそろいますので、電子投票がどんなものか、ぜひ体験ください。

電子投票Q&A

疑問や不安に「めいすいくん」がお答えします！



▲明るい選挙のイメージキャラクター
選挙のめいすいくん

- 操作はとても簡単というけれど...
私は、機械が苦手なのですが、投票の手助けをしてもらえるのでしょうか？
○はい、投票機の操作がわからない方のために、申し出により操作方法を教えたり補助したりできる「操作補助制度」が新設されましたので、機器の操作に不安な方も安心して投票できます。また、事前に模擬投票できる機会を設けますので、ぜひ体験してみてください。
- 来年4月から、市の選挙に電子投票が実施されますが、国・県の選挙や不在者投票は今までと同じ投票方法なのですか？
○はい、国の法律や県の条例が改正されていないので、現在のところは実施できません。
市では、これらの投票も電子投票で行えるよう、宮城県市長会などを通じて、国や県に要望しています。
- 障害を持つ方への配慮はどうなっているのですか？
目の不自由な方は、従来の点字投票のほか、音声ガイドに従っての投票も可能です。また、代理投票や入院中の方などの郵便による投票も従来どおり実施されます。
- 電子投票では、コンピュータで投票結果が記録されるようですが、私が誰に投票したかまで記録されているのではないかと心配です。
○大丈夫、「誰が誰に投票したか」までは記録されていません。投票の秘密は憲法で保障されている権利です。投票の秘密は従来同様守られていますので、ご安心ください。
- また、投票操作を見えにくくするため、カバリーや機械の角度を工夫したりするなど、操作環境にも配慮します。
- 不正な操作で投票データが改ざんされたりする恐れはないのでしょうか？
○パスワードや暗証番号の設定により、操作する職員の権限確認や不正アクセスの防止を図ります。また、投票機から取り出す記録媒体も、堅固な容器に鍵をかけて開票所に送致されます。
- 停電などの事故が起きて大丈夫なのですか？
○投票機には、非常時に備えて予備電源（バッテリー）が内蔵されるなど、記録消失を防止する装置が備えられています。万が一トラブルが発生して、投票機が復旧できなくなっても、それまでの投票記録は保存されています。